

す 12月 る り に 澄 む

令和7年度 原山中だより

【第8号】令和7年12月1日発行

1年の終わりに

校長 遠藤 敏恵

読書月間の一環として、11月18日の朝読書の時間に、図書委員の皆さんによる読み聞かせが行われました。これは委員それぞれが他学年の教室に赴き、各自が選んだ絵本を朗読するという原山中図書委員会取組のひとつです。初めてこの話を聞いた時は、読み聞かせというと幼稚園や小学校低学年で行われるもの、という先入観があり少し驚きましたが、実際行われている様子を見て、なんて素敵な時間なんだろうと考えを改めました。「原山中の生徒は聞き上手なの」と図書館司書小林さんが教えてくださいましたがその通りで、自分の持ってきた絵本を一生懸命音読する1年生の図書委員の話を、じっと聞いている3年生の表情が本当に温かで、穏やかで、ほっこりしました。「ぐりとぐら」シリーズや「小さいうち」、「100万回生きたねこ」等々、委員の皆さんが幼い頃どなたかに読んでいただいた本なのかな、と思いながら私も思わず聞き入ってしまいました。絵本を持つ図書委員を、囲むようにして聞いてくれたクラスもありましたね。幼い頃好きだった本を思い出し、読み返した人もいたのではないですか。「緊張して手も声も震えてしまいました」と戻ってきた委員もありました。ご苦勞様でした。素敵な時間をありがとうございました。



委員会といえば安全委員の皆さんも、先日、地域の方々にご協力いただき、災害時を想定した共助訓練を行いました。避難訓練後の学活では、皆さんが体験したことをクラスの仲間にも還元してくれました。また1年生は横浜方面への校外学習、2年生は館岩自然の教室に向けて、学級委員、実行委員を中心として熱心に活動が進められています。1年生の学活の時間に教室を覗くと、班によるコース決めをしている最中で、「僕たちはそれぞれが問いを立てて、それを検証するために校外学習に行くんです」と、なんとも頼もしい言葉が返ってきました。給食委員も12月2日に行われる「地元シェフによる学校給食」を目前に控え、最終準備の段階です。この「シェフ給食」とは、さいたま市が推進している食育に関する取組の一つで、地元で活躍されているシェフをお招きし、地元の食材を活用した給食を学校で作って提供していただくというものです。どなたがお見えになるか、給食委員の皆さんの企画も含め楽しみです。翌日には、生徒会と青少年育成原山地区会及びPTAの皆さんとの共催による「クリスマスイルミネーション点灯式」も予定されています。保健委員による学校保健委員会、整美委員による大掃除・ワックスがけ、そして年間を通して行われる体育委員による早朝からの授業準備、保健委員による健康観察、放送委員による朝、昼、下校放送、掲示委員の趣向を凝らした毎月の掲示等々、今年も生徒の皆さんの様々な活動によって、学校が豊かに彩られてきました。どうもありがとう。



保護者の皆様、地域の皆様、今年も原山中及び原山中生は、多くの方々に見守られ、支えられながら、沢山の成果をあげることができました。心より感謝申し上げます。教職員一同、生徒たちと共に、2025年をしっかりと締めくくり、新たな年を迎えたいと思います。これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。皆様、よいお年をお迎えください。